

※婚姻後に夫の氏を名乗る場合(妻の氏を名乗る場合は「妻の氏」にチェックしてください)

実際に提出する日をご記入ください。

記入例

婚姻届

令和 年 月 日 届出

江東区 長 殿

受 理	令和 年 月 日	発 送	令和 年 月 日
第 送 付	第 号	長 印	
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票 附 票 住民票 通 知

この部分は記入しないでください。

消せるボールペンで記入しないでください。

証人についてのご注意
○成人の方2名が必要です。
○必ず、ご本人に署名をしてもらってください。

証 人	
署 名 (※押印は任意)	江 東 春 子
生 年 月 日	昭和30 年 3 月 3 日
住 所	東京都江東区東陽 4丁目11番28-101号
本 籍	東京都江東区東陽 4丁目11番地
署 名	墨 田 二 郎
生 年 月 日	昭和29 年 2 月 2 日
住 所	東京都墨田区吾妻橋 1丁目23番20-202号
本 籍	東京都墨田区吾妻橋 1丁目23番地

婚姻後に
名乗る氏に
チェックして
ください。

夫	妻
免・バ・住	免・バ・住
保険証	保険証
この部分は 記入しないでください。	
通知有	通知有
不受理申出 有・無	不受理申出 有・無

(1)	氏 名	夫 江 東 太 郎	妻 墨 田 花 子
(2)	生 年 月 日	昭和61 年 1 月 1 日	平成2 年 2 月 2 日
(3)	住 所	東京都江東区東陽 4丁目11番28-101号	東京都墨田区吾妻橋 1丁目23番20-202号
(4)	本 籍	東京都江東区東陽 4丁目11番地	東京都墨田区吾妻橋 1丁目23番地
(5)	父母及び養父母 の氏名	父 江 東 一 郎 母 春 子	父 墨 田 二 郎 母 夏 子
(6)	婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	夫の氏 新本籍 (左の□の氏の方がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) 妻の氏 東京都江東区東陽4丁目11番地	
(7)	同居を始めた とき	令和元 年 5 月	
(8)	初婚・再婚の別	初婚 再婚	初婚 再婚
(9)	同居を始める 前の大妻のそれ ぞれの世帯と おんな仕事と	夫 妻 1.農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 2.自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 3.企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が 1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 4.3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または 1年未満の契約の雇用者は5) 5.1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 6.仕事をしている者のいない世帯	
(10)	夫 妻 の 職 業	夫の職業 02	妻の職業 03
(11)	届 出 人 署 名 (※押印は任意)	夫 江 東 太 郎	妻 墨 田 花 子
(12)	事 件 簿 番 号		

婚姻届の提出日時点で、住民登録しているところをご記入ください。
※転入・転居・世帯主変更届もあわせて提出する場合は、新住所、新世帯主をご記入ください。
※転入・転居・世帯主変更等には、婚姻届とは別に住民異動届の提出が必要になります。

選択した氏の方が現在「筆頭者ではない」場合は、新しい戸籍を作り
ますので、新本籍の表示を決めてご記入ください。
※選択した氏の方が、(3)の本籍で筆頭者になっている場合は、新本籍は作れません。
(4)の新本籍欄は記入しないでください。(3)欄の戸籍に配偶者の方が記載されます。
上記の場合で、結婚を機に本籍を変更されたい場合は、転籍届と婚姻届を同時に提出する
ことにより、転籍後の新本籍にお相手を入籍させることが可能になります。

令和7年度は国勢調査の年ですので、別紙「令和7年度 人口動態調査(職業・産業例示表)」表面に明示された番号または職業分類名をご記入ください。

◎署名は必ずご本人が自署してください。

昼間連絡の取れる電話番号をご記入ください。